

学外用記入例
(私学・企業用)

【 分 析 参 考 資 料 】 整理番号

株式会社京大化学工業 研究開発部 京都 太郎

所属・申込者名(教室主任者名)

連絡先住所 〒606-8501
京都市左京区吉田下阿達町46-29

TEL (075) 753-4596

物質名【略号】 ex-123

試料名は混同を防ぐため
わかりやすい名前をつけて下さい

融点: 沸点 137.5 °C

希望分析種別 固体 液体 CHN O S Cl Br I F P

1) 含有元素名: C H N O

その他 (S, Fe(少量))

3) 構造式:

↑含有元素にマルをつけ、その他の欄へ
試料に含まれている元素種すべてを記入して下さい

2) 分子式: C₇H₉NO₂S

※ 申込用紙のコピーは不可です。

※ 黒系のボールペン又はサインペンで記入して下さい。(印刷可)

※ ミシン目部分以外は折らないで下さい。

※ 複数の元素を分析する場合も試料の提出は一つで結構です。(不安定な物質を除く)

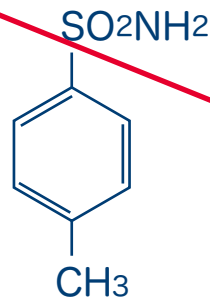
4) 予想含有率: H = 5.30 % C = 49.10 % N = 8.18 % O = 18.69 % S = 18.73 % Cl = 0 %

Br = % I = % 水素、炭素が2%以下または85%以上の場合は、大まかな数字で結構ですので
(1%、2%、90%、100%等整数で可) 予想含有率のご記入をお願いいたします。

5) 物理・化学的性質: 吸湿性・空気酸化・揮発性・昇華性・爆発性・難燃性・その他 ()

6) その他の希望事項: 遮光保存・冷蔵保存・冷凍保存・その他 ()

7) 供試可能量は10mg以上ありますか? (※) : 有 (無) (無の場合約 5 mg 分析優先順位: S, CHN, Cl)



分析する元素にマル
二カ所とも同じものにマルをつけて下さい

試料が10mgに満たない場合は、分析元素が複数ある場合、まず一回ずつ分析をいたしますが
一回分も量り取れない場合がありますので、10mg用意できない場合はご記入下さい。
記入がない場合はCHNを優先します。

【 分 析 結 果 報 告 書 】

試料量 (mg)	H (%)	C (%)	N (%)
予想含有率 (%)			

試料量 (mg)	O (%)	P (%)
予想含有率 (%)		

当方記載欄

ここに分析結果を印字して報告します

試料量 (mg)	F (%)	Cl (%)	S (%)
予想含有率 (%)			

試料量 (mg)	Br (%)	試料量 (mg)	I (%)
予想含有率 (%)		予想含有率 (%)	

分析報告日 年 月 日

京都市左京区吉田下阿達町 京都大学 薬学研究科内

京都大学有機微量元素分析総合研究施設

TEL 075-753-4596 FAX 075-753-4603

分析結果の送付先を記入して下さい
手書きで複数サンプル申込みの場合、住所は一番上の一枚のみで結構ですが
所属とお名前は全ての申込用紙にご記入下さい。

整理番号

分	試料量	H%	C%	N%	特記

分析日 年 月 日

<< O・I・P 分析 >>

分	試料量	O%	I%	P%	特記

分析日 年 月 日

<< F・Cl・Br・S 分析 >>

分	試料量	F%	Cl%	Br%	S%

【特記事項】

申込日を記入して下さい(または書類記入日)

京都市左京区吉田下阿達町 京都大学 薬学研究科内

京都大学有機微量元素分析総合研究施設 御中

上記の分析依頼申込みを承認します。 施設

【連絡事項】

- ・ 分析結果送付先
- ・ 分析に関する問い合わせ先
- ・ 請求書の送付先

が異なる場合はここに記載して下さい

分析日 年 月 日

有機微量元素分析依頼申込書

整理番号 押印省略可

(括弧内は京都大学申込者)

申込者名(教室主任者名) 京都 太郎

連絡先(分析結果受取人所属氏名)

〒606-85xx
京都市左京区吉田下阿達町46-29
京大化学工業 研究開発部 TEL 075 (753) 4596

請求先(請求書) 請求書または領収書の宛名を記入して下さい

株式会社京大化学工業 山田太郎

固体試料 CHN O S Cl Br I F P
液体試料

試料を添えて上記分析を依頼致します。

分析料金 円を

学外

現金

請求書

原則として請求書にてのお支払になります。

科研費による請求書

予算振替(運営交付金)

費用付替

プロジェクト名

プロジェクト番号

により納付致します。
有機微量元素分析受託サービスの利用に際し、
京都大学有機微量元素分析受託分析料金規定
を遵守します。

西暦 20 年 月 日